

平成 24 年 3 月 30 日

各 位

会社名 株式会社新日本建物
 代表者名 代表取締役社長兼社長執行役員
 壽松木 康晴
 (JASDAQ・コード番号: 8893)
 問合せ先 執行役員 管理本部長兼グループ経営企画部長
 佐藤 啓明
 (TEL. (03) 5962-0775)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ平成 23 年 5 月 13 日付「平成 23 年 3 月期 決算短信」にて公表いたしました平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|--------|--------|--------|--------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 21,500 | 1,020 | 730 | 820 | 8 円 24 銭 |
| 今回修正予想 (B) | 13,790 | 690 | 410 | 390 | 3 円 92 銭 |
| 増減額 (B-A) | △7,710 | △330 | △320 | △430 | — |
| 増減率 (%) | △35.9 | △32.4 | △43.8 | △52.4 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期) | 9,736 | △2,356 | △2,542 | △1,235 | △17 円 21 銭 |

2. 連結業績予想の修正理由

売上高の主な減少要因は、一部の物件について事業計画の変更等で外部売却が翌期にずれ込むことにより、流動化事業が 20 億円、マンション販売事業が 18 億円減少する見込みであります。加えて、当期売上計上を企図した新規物件の取得が計画通り進捗しなかったことにより、流動化事業で 23 億円、戸建販売事業で 16 億円減少することなどにより、売上高が 77 億 10 百万円減少する見込みであります。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、売上高の減少に伴い売上総利益が減少する一方、特別利益として見込んでいた事業整理損失引当金戻入額 95 百万円を目的取崩しによる原価処理としたことにより売上総利益が 8 億 60 百万円減少する見込みであります。販売管理費については、マンション販売事業における広告宣伝費等の販売費の圧縮を図るとともに、支払手数料等の一般管理費の削減に努めたことにより 5 億 30 百万円減少する見込みであります。以上により、営業利益が 3 億 30 百万円、経常利益が 3 億 20 百万円、当期純利益が 4 億 30 百万円それぞれ減少する見込みであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な条件に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上